

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 見附市立上北谷小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒954-0025
新潟県見附市牛ヶ嶺町 1292

E-mail kamikita@mitsuke-ngt.ed.jp

Website http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~kamikita/

児童生徒数 男子 40名 女子 18名 合計 58名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 上北谷の河川と周辺環境を守るプロジェクト「循環型環境活動」

学区を流れる刈谷田川と稚児清水川の水質検査や水辺環境調査に、地域の企業や市の教育センターと連携し、取り組んでいる。さらに、検査を行っている稚児清水川に鮭の稚魚を放流する。12月鮭の受精卵を地域の漁業組合よりいただき、12月下旬から翌年3月までの3か月間、学校の水槽で卵から孵化するまで育てる。2～3cm程になった稚魚を3月下旬、地域の方と漁業組合の方の支援をいただき、全校の子どもたちが稚児清水川に稚魚を放流する。秋には鮭が川を上ってくる様子を見学に出かけ、元気に戻ってきたことを喜ぶ。

鮭の生物としてのエネルギーを「生命を育てる」「川を綺麗にする」という循環型環境活動を通して、子どもたちが受け取っている。

2 自然豊かな上北谷の大地や生物を再利用するプロジェクト「循環型農園活動」

9月に、それまで保管していた稲藁、さつまいものつる、さらには花壇の草花と牛糞や米ぬか等を一緒に積み上げる堆肥作りに取り組む。積み上げた堆肥は2年間寝かせ、2年後の春に、学校の畑や花壇へ散布し、土の栄養とする。地域の方の支援隊「team 上北農援隊」の皆さんとの協働により教育活動を実施している。

3 芝生、遮光カーテン等によるプロジェクト「アースプロジェクト活動」

グラウンド中央部、フィールド内と周辺を芝生化し、地面の照り返しを防ぐとともにグラウンドをグリーン化し、視覚的にも涼しさを醸し出している。

また、校地内に太陽光パネルを設置し、消費電力の一部を補填するなど節電対策に取り組んでいる。太陽のエネルギーを太陽光パネルで電力に変換し、その後、校舎内で活用している。活用の様子を子どもたちは校舎内に設置してある「太陽光発電システムパネル」で確認している。

さらに、3階教室に葦簾カーテン、1、2階はグリーンカーテンを設置、直射日光を遮ることで教室内の室温を下げ、扇風機使用等の節電に取り組んだ。

4 「上北ブランド」(上北味噌、上北米への取組) 「イートプロジェクト活動」

子どもたちは「team 上北農援隊」の皆さんと上北ブランドの食材「イートプロジェクト活動」に取り組む。

春、学校の畑に植えた大豆を秋に収穫、その後、地域の作業所や学校で上北味噌を造る。味噌は半年寝かせ、秋の収穫祭で使ったり地域の人に配付したりする。

さらに、家庭科の調理実習でも使用するなど有効活用している。

全校の子どもたちが田植え、稲刈りを行い、もち米を作る。田植えは昔ながらの「ごろかけ」を行い、丁寧に苗を一本ずつ植える。稲刈り後は「はざかけ」に天日干しをする。脱穀・精米をしたもち米は地域の方、保護者の方と一緒に収穫祭(上北っ子フェスティバル)を行い、収穫を喜ぶと共に、お手伝いをいただいた皆さんに感謝する。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）